

小さな発見がいっぱい

年少

2026年 5月



園庭に出ると、

蟻を探したり、

蟻の巣を観察したりして、

蟻に夢中です。🐜🐜🐜



「どこから出てくるのかな？」と

地面をじっと見つめ、巣穴を見つけると

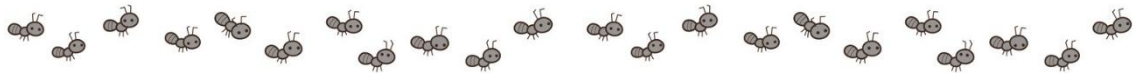
「いっぱい出てきた!」「葉っぱを運んでるよ!」

と、大興奮の子ども達です。蟻の動きを目で追いながら、

「おうちに帰ってるのかな?」「ごはんを運んでるのかも!」と

想像を膨らませています。

友達と一緒に発見を共有しながら、小さな生き物への興味・関心や親しみが育ってきています。



砂場では、車形のおもちゃを携帯電話に見立て、ごっこ遊びをして盛り上がっています。



「もしもし〜」「今から行くね!」とやり取りを楽しんだり、

「写真撮ります!」とカメラに見立てたりしながら、

友達との関わりを楽しんでいます。

身近な大人の姿を思い浮かべながら、

言葉のやり取りやイメージを広げて

遊ぶ様子がとても微笑ましいです。



これからも、

子どもたちの「なんだろう?」「やってみたい!」

という気持ちを大切にしながら、

日々の遊びを楽しんでいきたいと

思います。

